

通常砂防事業の効果

流砂系の総合土砂管理による国土保全の推進

既設の砂防えん堤のスリット化
〈 長野県 小谷村 濁沢(にぎりさわ) 〉

位置図

計画位置



事業概要

濁沢の上流域は地質が脆弱なため、山腹に大規模な崩壊・地すべりが発生し、多量の不安定土砂が土石流の発生源となっている。H10～H13の4年連続で発生した土石流は下流域に住む住民の不安を一層強めている。一方で下流域では河床低下を起こしている区間もあり、下流への適切な土砂供給が求められている。このため既設堰堤のスリット化を実施し効果量の増加を図るとともに、上下流一貫した土砂管理を推進する。

全景



河床低下状況

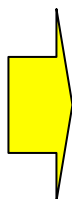
土石流発生状況
(平成11年10月発生)



大出水時における多量の土砂を捕捉し、その後の中小出水により適正な土砂の流れを促し、自然豊かな溪流の保全再生に貢献！！



スリット化前



スリット化後